

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

坂祝町長 伊藤 敬宏

|                   |                                    |
|-------------------|------------------------------------|
| 市町村名<br>(市町村コード)  | 坂祝町<br>(215015)                    |
| 地域名<br>(地域内農業集落名) | 坂祝町全域<br>(一色、池端、中組、雲埋、大針、黒岩、深萱、勝山) |
| 協議の結果を取りまとめた年月日   | 令和7年7月15日<br>(第1回)                 |

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域農業の現状及び課題

・担い手及び農地所有者の高齢化が進み、農業後継者もいないため、新たな担い手の確保が必要となる。  
・一部農地では担い手による耕作が行われている一方、土地所有者等の個人農業者による耕作も多く行われている。  
・自家消費が主である個人農業者においては、農業者の高齢化や農業機械の老朽化等といった理由から、今後の営農を続けていくことが難しく、更なる離農が懸念される。その他にはイノシシによる農作物の被害や畦畔の草刈等の環境整備における手間、費用等も課題となっている。

## (2) 地域における農業の将来の在り方

・地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図りながら、当該地区における農地集約をさらに進めていく。また、担い手への農地の集約化に配慮しながら、地域内外から新たに農地を有効活用する者を確保するよう努める。  
・新たな担い手の確保に努めるとともに、現状の担い手へ農地を集積・集約し、地域で取り組める新たな作物や栽培方法を検討・普及していく。

## 2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

## (1) 地域の概要

|                                  |        |
|----------------------------------|--------|
| 区域内の農用地等面積                       | 291 ha |
| うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積      | 229 ha |
| (うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】 | ha     |

## (2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農用地区域

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

|                                                                                                                    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1)農用地の集積、集約化の方針                                                                                                   |
| 地域の中心的な担い手の借受意向を確認しながら、農地の集約及び集積を進めていく。                                                                            |
| (2)農地中間管理機構の活用方針                                                                                                   |
| 地域の担い手への農地の貸し借りは、農地中間管理機構の活用を主とし、担い手の経営意向に沿った農地の集積・集約化を段階的に図っていく。将来的には担い手の効率的な営農につながる経営農地の集約化を目指す。                 |
| (3)基盤整備事業への取組方針                                                                                                    |
| ・現状、農地の基盤整理は完了しているが、今後要望がある場合は、その必要性を改めて検討していく。                                                                    |
| (4)多様な経営体の確保・育成の取組方針                                                                                               |
| ・町内の担い手が少ないため、今後は町内のみならず町外からも、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していく。<br>・岐阜県、坂祝町、農業委員会及びJA等と連携し、相談から定着まで切れ目がないよう取り組んでいく。 |
| (5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針                                                                                |
| —                                                                                                                  |

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

|                                               |                                             |                                  |                                   |                               |
|-----------------------------------------------|---------------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策 | <input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料        | <input type="checkbox"/> ③スマート農業 | <input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等 | <input type="checkbox"/> ⑤果樹等 |
| <input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等            | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等 | <input type="checkbox"/> ⑧農業用施設  | <input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等   | <input type="checkbox"/> ⑩その他 |

【選択した上記の取組方針】

①地域による鳥獣被害対策を支援する補助金(侵入防止柵等)の継続や、猟友会が行う捕獲活動への支援を実施する。  
⑦耕作放棄地是正指導の強化、草刈等の保全、維持管理が負担となっているので補助金の創設など実情に見合う対策を実施していく。